

「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

三重県地域セミナー 報告書

2019（令和元）年 8 月 29 日（木）に、「スポーツ庁 オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」三重県地域セミナーが開催されました。当日は、今年度の推進校の先生方 6 名に参加いただき、下記の要領で行われました。

【開催概要】

日時：2019（令和元）年 8 月 29 日（木）14 時 00 分～16 時 00 分

会場：三重県勤労者福祉会館

主催：三重県教育委員会事務局、早稲田大学オリンピック・パラリンピック教育研究センター

参加者：6 名

プログラム：

14:00～14:05 開会挨拶

三重県教育委員会事務局 保健体育課 学校体育班

主幹 湯田 稔 氏

14:05～14:25 「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」の概要説明

早稲田大学オリンピック・パラリンピック教育研究センター

主幹研究員 吉永 武史 氏

14:25～15:05 全国事例の紹介

早稲田大学オリンピック・パラリンピック教育研究センター

研究員 岡田 悠佑 氏

15:05～15:15 事業実施上の留意点について

三重県教育委員会事務局 保健体育課 学校体育班

指導主事 小野寺 雄次郎 氏

15:15～15:20 休憩

15:20～16:00 ワークショップ 推進指定校の実施計画の作成について

16:00～16:10 閉会挨拶

三重県教育委員会事務局 保健体育課

課長 嶋田 和彦 氏

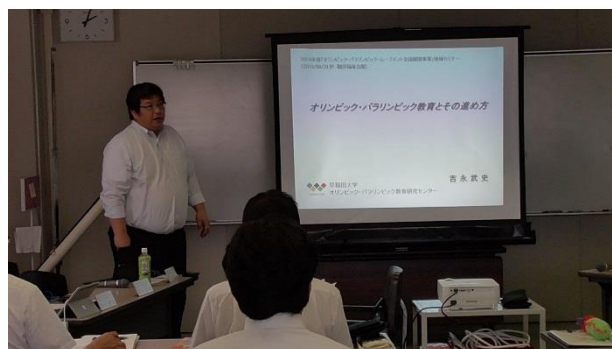
開会行事では、三重県教育委員会の湯田氏より挨拶がありました。湯田氏からは、本事業の目的や地域セミナーの目的等についてお話いただきました。特に、三重県では、2020 年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会後の 2021 年に国民体育大会が開催されることが決定しており、本事業を通して、スポーツへの興味・関心を継続的に高めていきたい、ということでした。

次に、早稲田大学オリンピック・パラリンピック教育研究センターの吉永主幹研究員より、「オリンピック・

パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」の概要説明が行われました。本事業の背景やオリンピック・パラリンピック競技大会の価値、さらには具体的な実践例等も示されました。また、早稲田大学オリンピック・パラリンピック教育研究センターの岡田研究員より、全国の実践事例を中心とした学校におけるオリンピック・パラリンピック教育の進め方についての説明も行われました。アスリートを派遣した実践だけでなく、様々な教科と関連づけた実践事例を紹介されました。また、オリンピック・パラリンピック教育の実践を行うための教材として、「オリンピック・パラリンピック教育指導参考資料」（スポーツ庁）や「I'mPOSSIBLE」（JPC、パラリンピックサポートセンター）等の紹介がありました。さらに、パラリンピアンへの想いや考えを描いた「夢に向かって」（早稲田大学オリンピック・パラリンピック教育研究センター）「WHO I AM」（WOWOW、IPC）等の映像資料も紹介されました。



湯田氏の挨拶



吉永主幹研究員の講義

続いて、三重県教育委員会の小野寺氏による本事業の進め方について、特に事務手続き等についての説明がありました。さらに休憩の後、推進校の先生方を2グループに分けてグループワークが行なわれました。オリンピック・パラリンピック教育のイメージや実践の計画、さらには取り組んでみたい実践等について意見交換が行われました。最後に、三重県教育委員会の嶋田氏より、オリンピック・パラリンピック教育についての抱負をお話いただき、散会となりました。



小野寺氏の説明



グループワーク①



グループワーク②



嶋田氏の挨拶